

2020年度（令和2年度）
大学院薬食生命科学総合学府
学生募集要項

薬学専攻
【博士課程】

秋季（2020年10月）入学

出願資格審査

申請期間 2020年 6月12日（金）～ 6月18日（木）16：00【必着】
※過去に出願資格審査により出願を認められた者も改めて出願資格審査を受ける必要があります。

出願期間 2020年 7月15日（水）～ 7月21日（火）15：00【必着】

試験日 2020年 8月21日（金）

合格発表 2020年 9月 4日（金）10：00以降

静岡県立大学

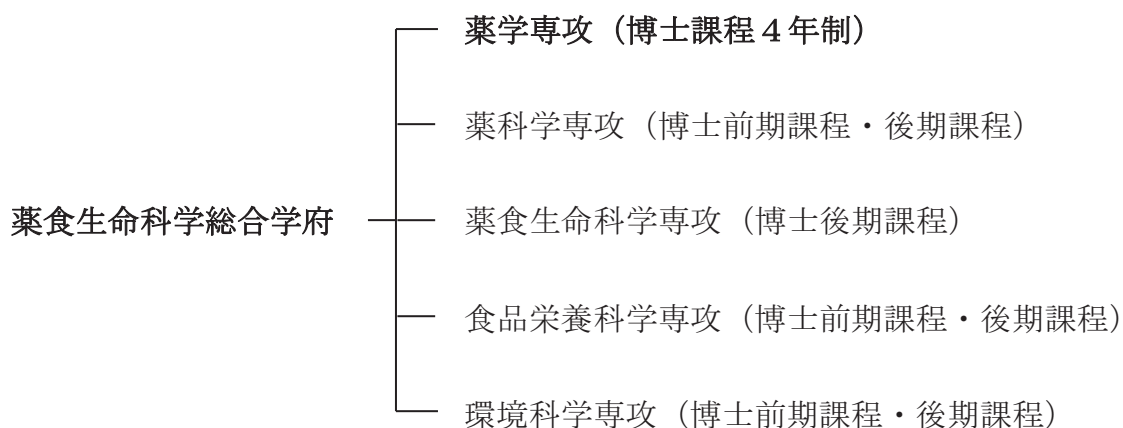
<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

※今後、新型コロナウイルスの感染状況により記載内容に変更が生じた場合は、ホームページにて周知します。

【薬食生命科学総合学府 薬学専攻】

本学府は、薬学部および、食品栄養科学部（平成26年度より環境科学研究所教員を併合）の大学院教育組織として、平成24年度に統合・開設されました。薬と食を基盤とした最先端生命科学を究め、健康寿命の延伸と安全・安心な環境の創出に貢献できる研究者や高度専門技術者を育成することを目的とします。

本学府は5専攻から構成されますが、このうち、薬学専攻は医療薬学・臨床薬学関連分野の第一線で活躍できる高い専門性を有する人材の育成を目指します。具体的には、医療薬学や臨床薬学領域における研究者・教育者、指導的立場に立つ薬剤師、治験・臨床開発従事者を養成し、がん・感染症等の専門薬剤師や治験コーディネーターの資格取得などを支援します。



【学府の理念、目標】

健康増進や病気の予防・治療による健康長寿の実現には、適切な医薬品や食品の開発・選択と、医薬品の適正使用が欠かせません。薬食生命科学総合学府では、健康維持の要因あるいは疾病の発症・進展のメカニズムを生命科学や物質科学の観点から解明し、健康長寿社会の構築に貢献する意欲があり、そのための努力を惜しまない学生を求めています。薬学、食品栄養科学、環境科学等の最先端科学を通して国際的に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像】

薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学に貢献する意欲のある学生を幅広く求めます。そのためには、

- 1) 薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学の習得と研究に必要な基礎学力
 - 2) 国際的な科学コミュニティへの参加に必要な英語能力
- が必要です。

【学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

薬学専攻では、医療薬学・臨床薬学関連分野の第一線で活躍できる高い専門性を有する薬剤師や医療薬学研究者の養成を教育目標として掲げており、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対し、博士（薬学）の学位を授与します。

1. 高い国際対話能力
 - ・グローバルに活躍できる情報収集能力を有し、それに必要なコミュニケーション能力及び国際感覚を身につけている。
2. 倫理観
 - ・生命倫理及び患者の人権を最優先するという強い倫理観を身につけている。
 - ・研究活動の責任・使命を理解し、健全な科学倫理観を身につけている。
3. 高度な知識と技能
 - ・最先端の医療ならびに基礎及び臨床研究を実施できる知識と技能を有している。
 - ・臨床及び研究活動における課題解決に必要な知識と技能を有している。
 - ・医療現場や研究活動において指導的立場として活躍できる知識と技能、ならびにコミュニケーション能力を有している。
4. 高い臨床能力
 - ・医療現場で遭遇する様々な問題を率先的に発見・解決できる臨床的な能力を身につけている。
 - ・薬物療法を提案・遂行する能力を身につけ、チーム医療に指導的立場で貢献できる。
5. 自己研鑽
 - ・医療人として、常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲と能力を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

医療人としての倫理観を持ち、世界に通用する語学力及びコミュニケーション能力を養うとともに、臨床薬学及び薬学研究の基盤となる知識と技能を醸成し、医療の担い手として貢献する指導的立場の薬剤師や医療薬学領域の研究者を養成するために、以下のようなカリキュラムを編成しています。

1. 薬学関連領域の講義科目の履修により、倫理観を養い、薬学に関する高度な知識の習得をはかる。
2. 薬学の演習科目、実験科目の履修により、優れた臨床及び基礎研究能力ならびに問題解決能力を養う。
3. 国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を養うための語学教育やスモールグループディスカッションを行う。

【入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）】

医療人としての倫理観を持ち、世界に通用する語学力及びコミュニケーション能力を養うとともに、臨床薬学及び薬学研究の基盤となる知識と技能を醸成し、医療の担い手として貢献する指導的立場の薬剤師や医療薬学領域の研究者を目指す次のような人を求めています。

1. 健全な倫理観を備え、指導的立場の薬学人として社会に貢献したいという強い信念と情熱を持つ人
2. 大学で習得した薬学の基礎知識や技能を基盤として、それらをさらに発展させたいという学習意欲と科学的探求心を有している人
3. 社会のニーズに柔軟に対応できる創造力と論理的思考力を有し、医療や薬物治療に対する問題意識を常に持ち、他者と意見交換しながら論理的に問題解決へ向けて取り組む人

1 募集人員及び修業年限

専攻	募集人員	標準修業年限
薬学専攻	若干名	4年

※ 募集人員は、社会人特別選抜（若干名）及び外国人特別選抜（若干名）を含みます。

※ 講座の「主な研究分野と研究題目」については8・9ページを参照してください。
詳細については、薬学研究院ホームページを参照してください。

URL : <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

2 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に定める大学の薬学（修業年限が6年であるものに限る。）、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者（2020年9月30日までに卒業見込みの者を含む。）
- (2) 学校教育法第104条に定める修士の学位を有する者 ※ 専門職大学院は除く
（2020年9月30日までに取得見込みの者を含む。）
- (3) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
（2020年9月30日までに授与される見込みの者を含む。）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者（2020年9月30日までに授与される見込みの者を含む。）
- (5) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 学校教育法施行規則第156条第6号の規定に基づき文部科学大臣の指定した者
※ 文部科学大臣の指定した者とは、「大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」をいう。
- (7) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年9月30日までに24歳に達する者
- (8) その他、本学学長が修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3 選抜区分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(8)のいずれかに該当する者

※2の出願資格(3)～(8)に該当する者は、4の出願資格審査が必要です。

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(8)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者で、社会人特別選抜の出願資格審査を通過した者は、社会人特別選抜として出願できます。ただし、勤務先で、休職等により本務を離れて本学で勉学することを許可された者は、一般選抜に出願してください。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務する者で、当該勤務先の承認を得ている者
- ③ その他学長が特に認める者

※入学後も企業、研究機関等で勤務を継続する者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

※社会人特別選抜として出願する者は、4の社会人特別選抜出願資格審査が必要です。審査を通過しないと、社会人特別選抜として出願できませんので、ご注意ください。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(3)～(8)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は、外国人特別選抜として出願できます。

※ 外国人特別選抜として出願する者は、4の出願資格審査が必要です。

4 出願資格審査

2の出願資格(3)～(8)のいずれかに該当する者、または社会人特別選抜での出願を希望する者は、出願資格の審査を行いますので、申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。過去に出願資格審査により出願を認められた者も改めて出願資格審査を受ける必要があります。期日までに提出がない場合には、いかなる理由があっても出願できませんのでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所あてに郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

(1) 申請受付期間

2020年6月12日(金)～6月18日(木)

※窓口受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:00

※郵送・持参を問わず、最終日の16:00までに必着。

出願資格審査書類等がそろっていることを十分確認の上、角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、学生部入試室あて提出してください(封筒の表書きには「大学院薬食生命科学総合学府 薬学専攻 博士課程(秋季入学) 出願資格審査書類在中」と朱書してください)。

郵送の場合は、簡易書留速達郵便により提出してください(期限厳守)。

(2) 提出書類

区分	提出書類	説明 (所定の様式は本学ホームページからダウンロードすること)
<一般選抜 及び外国人 特別選抜> 出願資格 (3)～(8)	a 出願資格審査申請書	「所定の様式」を使用すること ◎申請に先立って、必ず志望講座主任教員に連絡をとること
	b 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人は、市区町村長が発行する住民票(在留資格、在留期間が明示されているもの)を提出すること。ただし、日本に在住していない外国人は、旅券の写しまたは国籍を証明する書類を提出すること。
<社会人特別選抜> 出願資格 (1)～(8)	c 卒業・修士課程修了(見込)証明書【原本】 *1 *2 *3 *4	出願資格を証明する証明書について、出身大学(院)において作成、 厳封したもの を提出すること。
	d 成績証明書【原本】 *1 *2 *3 *4	学部と修士課程について、出身大学(院)においてそれぞれ作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出
	e 研究歴・研究内容の要旨*1	A4判縦、様式任意(日本語または英語)
	f 研究論文目録 *1	A4判縦、様式任意(日本語または英語)
	g 研究論文 *1	「最終学歴の学位論文」の写しとその要旨(2000字程度、A4判縦：横書、ワープロ可)。学位論文がない者は、その他の研究論文。

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*2 外国人留学生等、外国の大学(院)卒業・修了(見込)の者で、cとdのいずれかまたは両方が提出できない場合には、出願資格を証明する書類(授与された証書等)の【原本】を提出してください。また、大学(院)からの証明書発行が申請受付期間後になる等、提出書類の遅延のやむを得ない理由がある場合は、事前に入試室に相談し、指示を受けてください。

*3 c, d及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付してください。

*4 外国人留学生等、外国の大学(院)卒業・修了(見込)の者で、証明書が1部しか発行されない等の理由で**原本の返却を希望する場合は**、本学ホームページの募集要項ダウンロードページから「留学生の証明書【原本】返送方法について」を印刷し、手順に従って原本返送の申請をしてください。

◎社会人特別選抜での出願を希望する者は、次の書類を併せて提出してください。

追加提出書類	説明
h 受験許可書 *1 *5	勤務先の所属長または代表者が作成した受験許可書 宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用すること。(氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意)

*5 「公印」を所持していない等、使用できないやむを得ない理由がある場合は、事前に入試室に相談し、指示を受けてください。

5 出願受付期間

2020年7月15日(水)～7月21日(火)

※窓口受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:00(最終日は15:00まで)

※郵送・持参を問わず、最終日の15:00までに必着。早めの出願にご協力ください。

6 出願方法

出願書類等がそろっていることを十分確認の上、角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、**学生部入試室**あて提出してください(封筒の表書きには「**大学院薬食生命科学総合学府 薬学専攻 博士課程(秋季入学) 出願書類在中**」と朱書してください。)

郵送の場合は、**簡易書留速達郵便**により提出してください(期限厳守)。

7 出願書類

出願書類		説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a	入学願書 (進学願書)	「所定の様式」を使用すること。 ※本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期(修士)課程修了見込みの者で、本学府・博士課程に進学を希望するものは「進学」を○で囲むこと。 写真(脱帽・上半身・正面・4.0cm×3.0cmのもの)で 出願前3か月以内 に撮影したものを貼付すること。 ◎出願に先立って、必ず志望講座主任教員に連絡をとること。
b	写 真 票	「所定の様式」を使用すること。 写真(脱帽・上半身・正面・4.0cm×3.0cmのもの)で 出願前3か月以内 に撮影したものを貼付すること。
c	卒業・修士課程 修了(見込)証 明書【原本】 *6	出身大学(院)において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※出願資格(3)～(8)に該当する者については、別途指示することがある。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要。
d	成績証明書 (学部、修士) 【原本】 *6	学部と修士課程 について、出身大学(院)においてそれぞれ作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入している者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。 ※出願資格(3)～(8)に該当する者については、別途指示することがある。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要。
e	研究経過等要旨 ・学位論文 *6	卒業見込みまたは修了見込みの者は研究経過等の要旨を1部、 学位を有する者は 「最終学歴の学位論文」の写し及びその要旨をそれぞれ1部ずつ提出すること。 ※出願資格(6),(7),(8)に該当する者については、研究歴、研究内容の要旨、研究論文目録及び論文別刷(3編まで)をそれぞれ1部ずつ提出すること。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出する必要不要。 ◎要旨は2000字程度 とする。(A4判縦:横書、ワープロ可)
f	入学検定料	30,000円 郵便局の 普通為替証書 に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u> ※本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期(修士)課程修了見込みの者で、本学府・博士課程に進学を希望する者は不要。
g	返信用封筒 (受験票送付用) *7	市販の長形3号の封筒または指定封筒に、学府名・住所・氏名・郵便番号を明記し、 534円分の切手を貼付 すること。原則本人あてとする。 所定の指定封筒の場合は、「様」を消さないこと。 ※以下の日までに受験票が届かない場合には、入試室まで連絡すること。 ・2020年8月17日(月)
h	住所票(合格通知受信用あて名票)	「所定の様式」を使用すること。 学府名・住所(合格通知、入学関係書類を確実に受け取れる場所)・氏名・郵便番号を明記すること。「様」は消さないこと。原則本人あてとする。

*6 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*7 海外への送付を希望する者は、EMSでの送付に必要な送料分の切手を同封してください。

8 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（英語（*TOEIC*® L&R IPテスト））、成績証明書、修士学位論文または研究経過の要旨及び口頭試問の成績を総合し、選抜ごと（一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜）に行います。

※*TOEIC*® L&R IPテストの試験結果は本学府の入学試験にのみ有効であり、*TOEIC*® L&R IPテストのスコアレポート（個人成績表）は受験生へは提供しません。

9 試験日程及び会場

(1) 試験日時

月	日	時 間	科目等
2020年8月21日（金）		9：00～11：30（150分）	英語（ <i>TOEIC</i> ® L&R）
		13：00～	口 頭 試 問

※「英語（*TOEIC*® L&R）」について

- ・本学大学院試験会場で*TOEIC*® Listening & Reading IPテストを行います。
- ・試験時間には、説明時間（約30分）を含みます。
- ・辞書等の持ち込みはできません。

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス （※本冊子の10ページ参照）

10 合格発表

発表日時 表紙に記載のとおり

- (1) 合格者には、本人あてに郵便で通知します（電話等による照会には一切応じません。）。
- (2) 合格者の受験番号は本学ホームページ（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>）にも掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

11 出願書類の請求及び出願上の留意事項

- (1) 4出願資格審査の(2)提出書類、7出願書類のうち「所定」のものは、本学ホームページに掲載のPDFファイルを印刷したものが利用できます（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>参照）。または入試室あてに請求してください。

※ 郵便で出願書類付の募集要項を請求する場合は、次のようにしてください。

ア 封筒の裏側に住所・氏名を明記するとともに、表側には必ず「**大学院薬食生命科学総合学府 薬学専攻 博士課程（秋季入学）募集要項請求**」と朱書きし、返信用封筒を同封して入試室あて請求してください。

イ 返信用封筒は角形2号（縦 332mm×横 240mm）を使用し、受取人の住所・氏名・郵便番号を明記して、210円切手（速達の場合は 500円切手）を貼付してください。

- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (5) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返却しません。
- (6) 過去の入学試験問題（英語）については、著作権の都合上本学で使用問題の保管ができないため閲覧できません。

- (7) 入学志願者で、身体に障害（障害の程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの）があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日までに入試室へ必ず事前照会してください。
・2020年6月18日（木）16:00まで

1 2 その他

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

- (ア) 受付日【持参の場合】※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。
2020年9月18日（金）

(イ) 主な提出書類・納付金

- a 宣誓書・保証書 b 住民票（静岡県内の者のみ） c 写真
d 入学料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

（参考）2020年4月入学者実績：静岡県内の者141,000円・静岡県外の者366,600円

※注1：「静岡県内の者」とは、2020年9月1日において、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上静岡県に住所を有している者をいいます。住所を有していることの確認は住民票で行います。

※注2：2020年度中に入学料が改定された場合には、改定後の入学料が適用されることとなります。

※注3：本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期（修士）課程修了見込みの者で、本学府・博士課程に進学する者については入学料不要です。

- e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。
（参考）2020年4月入学者実績：4,730円
f その他諸経費 ※入学手続要項送付時にお知らせします。
（参考）2020年4月入学者実績

本学出身者※注1	他大学出身者
12,000円※注2	77,000円※注2

※注1：本学出身者であっても、卒業した学部、または修了した専攻や、志望する専攻によっては、他大学出身者と同じ金額になる場合があります。

※注2：実務実習予定の方は、この金額に加えて、抗体価検査費等（2020年度4月入学者実績18,216円）が必要となります。

- イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

（参考）2020年4月入学者実績

後期授業料（入学時に納付）	267,900円
次年度前期授業料（4月に納付）	267,900円
合計（授業料年額）	535,800円

注：年額一括納付はできません。また、2020年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

- ア 日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金について
合格者に対して、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。

イ 授業料等の減免について

この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。

また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学料も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL（054）264-5009）。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府 薬学専攻

講座	主な研究分野と研究題目
薬化学講座 教授 眞鍋 敬 准教授	研究分野：有機化学、化学反応論、触媒的合成化学 □ 高性能触媒の開発研究 □ 安全・簡便な分子変換法の研究 □ 新規機能性物質・生物活性物質の創製研究 □ 化学反応機構の解明に関する研究
生体機能分子分析学講座 教授 轟木堅一郎 准教授 水野 初	研究分野：生体機能分子の高感度分析化学的研究 □ 次世代バイオ医薬品の新規分析法開発 □ オミクス解析のための新規分析ツールの開発 □ 超微量成分の高感度・高精度分析法の開発 □ 単一細胞メタボロミクスの開発
生化学講座 教授 鈴木 隆 *1 准教授 高橋忠伸	研究分野：生体分子認識と糖鎖機能解析 □ 生体における複合糖質および関連分子の機能解明 □ ウイルス感染増殖における複合糖質の機能解明と抗ウイルス剤の開発 □ 脳における糖鎖の機能解明 □ 細胞表面糖鎖分子の発現制御に関する研究
衛生分子毒性学講座 教授 吉成浩一 准教授	研究分野：化学物質の代謝と毒性／安全性に関する研究 □ 化学物質による遺伝子発現変動（生体応答）機構の解明 □ 化学物質応答性核内受容体の生理学的役割および毒性発現への寄与の解明 □ 肝障害の発現機序解明と予防・治療法の開発 □ 化学物質の安全性評価系（動物実験代替法）の開発
生薬学講座 教授 渡辺賢二 准教授	研究分野：天然物化学、生物有機化学、細胞分子生物学、生合成 □ 細胞工学的手法を用いた有用物質生産と生合成研究 □ 二次代謝産物の生合成研究 □ コレステロール生合成に関与する酵素の生物有機化学 □ 生物試験法を指標とする天然物の探索
免疫微生物学講座 教授 梅本英司 准教授	研究分野：生体環境を重視した免疫学 □ 粘膜組織における自然免疫系の機能解析 □ 免疫細胞に作用する代謝分子とその受容体の機能解明 □ 腸内細菌や食物が免疫系に及ぼす影響の解析 □ 病原性微生物に対する感染防御機構の解明
生命物理化学講座 教授 橋本 博 准教授 石川吉伸	研究分野：タンパク質やその複合体である生体超分子の構造生物学と理論的分子設計 □ X線結晶構造解析による疾患関連タンパク質などの構造機能解析と創薬基盤研究 □ DNA損傷トランスに関わるタンパク質の構造生命科学 □ タンパク質の立体構造情報とコンピュータの支援による医薬品分子の設計と創製 □ 染色体の構造形成に関わるタンパク質のX線結晶構造解析と機能相関研究
統合生理学講座 教授 武田厚司 *1 准教授	研究分野：脳科学を基盤とする健康長寿 □ 亜鉛シグナリングから見た学習・記憶の制御 □ アルツハイマー病の病態解析とその予防 □ パーキンソン病の病態解析とその予防 □ 加齢およびストレスによる脳機能変化とその改善
医薬品製造化学講座 教授 菅 敏幸 准教授 吉村文彦	研究分野：医薬品の開発を目指した有機合成化学 □ 医薬品として期待される生理活性を有する天然有機化合物の全合成 □ 食品有効成分のケミカルバイオロジーを指向した合成 □ 生体機能解明を目指したプローブ分子の簡便かつ汎用性の高い合成 □ ヘテロ環化合物の新規合成方法論の開発
創剤工学講座 教授 近藤 啓 准教授 金沢貴憲	研究分野：製剤設計、製剤工学、薬物送達システム開発、製剤物性評価研究 □ 放出制御製剤の開発 □ 粒子設計と製造プロセスの検討 □ 新規 DDS キャリアの開発と有用性評価 □ レオロジー解析に基づく製剤設計と製剤物性評価の確立
医薬生命化学講座 教授 浅井知浩 准教授	研究分野：薬物送達学、生物化学 □ リボソームDDSに関する基礎研究 □ 核酸医薬開発におけるナノDDS研究 □ がんの診断・治療への応用を目指したナノDDS研究 □ 高機能化ナノ粒子の設計と研究開発

<p>医薬品創製化学講座</p> <p>教授 濱島義隆 准教授</p>	<p>研究分野：有機合成化学、不斉合成、触媒化学、創薬化学、生体関連化学</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 不斉有機分子触媒の設計と医薬品精密合成に関する研究 □ 有機フッ素化学に関する基礎および応用研究 □ 光エネルギーを駆動力とする新規分子変換反応に関する研究 □ 生体関連機能性分子に関する研究
<p>創薬探索センター</p> <p>教授 浅井章良 准教授 澤田潤一</p>	<p>研究分野：医薬品候補化合物の探索、評価、作用機序解析</p> <ul style="list-style-type: none"> □ シグナル伝達や腫瘍免疫に着目した創薬スクリーニングシステムの開発 □ 新規抗がん剤の創製を目的としたリード探索と構造最適化研究 □ 医薬候補物質の作用機序解析とバイオマーカー探索 □ 低分子化合物を用いた細胞内ネットワークの解析と制御
<p>臨床薬剤学講座</p> <p>教授 賀川義之 准教授 宮寄靖則</p>	<p>研究分野：Personalized therapy 実践のための臨床的・基礎的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 抗がん薬の体内動態や臨床効果に影響を及ぼす要因の探索 □ 認知症治療薬の臨床効果を最大限に発揮するための臨床薬物動態研究 □ 製剤の分子製剤学的評価に基づく新規 DDS および院内製剤の開発 □ 経皮吸収製剤の開発と評価
<p>生体情報分子解析学講座</p> <p>教授 黒川洵子 准教授 坂本多穂</p>	<p>研究分野：生体・病態情報に関わる分子薬理学的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 疾患の発症および薬物反応の性差の基盤となる細胞シグナルの探索的研究 □ ヒト iPS 細胞由来分化細胞の創薬応用 □ 不整脈発症におけるイオンチャネル分子複合体の役割に関する研究 □ サルコペニアおよび生活習慣病の発症機序に関する研究
<p>分子病態学講座</p> <p>教授 森本達也 准教授</p>	<p>研究分野：循環器疾患の発症メカニズムの解明と治療法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 心不全発症における心筋細胞核内情報伝達機構に関する研究 □ 天然成分クルクミンおよびその誘導体・関連物質を用いた心不全治療に関する研究 □ 天然物による生活習慣病改善効果に関する展開医療研究 □ 心血管系疾患のバイオマーカー探索に関する研究
<p>薬剤学講座</p> <p>教授 尾上誠良 准教授</p>	<p>研究分野：創薬および最適な薬物療法の実現を目指した薬物動態制御研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 薬物の体内動態、薬効・副作用の解析による効率的創薬・創剤 □ 生理活性ペプチドの医薬応用を指向した DDS 開発と動態解析 □ 薬物動態情報と薬剤物性に基づく安全性予測法の開発 □ 機能性食品の動態制御研究ならびに薬物との相互作用解析
<p>薬理学講座</p> <p>教授 石川智久 准教授 木村俊秀</p>	<p>研究分野：糖尿病およびその関連疾患の病態解明、治療法開発をめざした薬理学的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ インスリン分泌と膵β細胞量の調節に関与する細胞内情報伝達機構の解析 □ 肝星細胞の活性化と収縮の制御に関わる細胞内情報伝達機構の解析 □ 糖尿病及び肝線維症発症に関与する細胞内情報伝達機構の解析と疾病予防への応用 □ 天然生理活性物質を応用した糖尿病及び肝線維症の治療法開発を指向した基礎研究
<p>臨床薬効解析学講座</p> <p>教授 伊藤邦彦 准教授 井上和幸</p>	<p>研究分野：遺伝子情報に基づく薬物療法の個別化・適正化および創薬に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 薬効や副作用に関連する遺伝子マーカーの解析と薬物療法個別化への応用 □ 疾患の予防や薬物治療に有用なバイオマーカーに関する研究 □ がん、感染症、自己免疫疾患の診断や治療に有用なヒト型抗体の作製と臨床応用 □ 抗体のエピトープ解析に基づく分子標的治療薬の開発
<p>医薬品情報解析学講座</p> <p>教授 山田 浩 *2 准教授</p>	<p>研究分野：治験・医薬品開発に関連し、EBM・疫学・生物統計学に基づいた臨床研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ EBM と生物統計学に基づいた臨床研究評価・解析法に関する研究 □ 医薬品および食品の有効性・安全性情報の評価・解析に関する研究 □ 創薬候補化合物の有用性を検証するための研究 □ 臨床試験実施体制のインフラストラクチャー整備に関する研究
<p>実践薬学講座</p> <p>教授 並木徳之 *1 准教授 内田信也</p>	<p>研究分野：患者ベネフィットを及ぼした臨床製剤評価と薬物動態・薬物作用解析に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 菓子様製剤、口腔内崩壊錠、プレミクスト注射剤の製剤化と臨床評価 □ 医療費原価分析に基づく実用化製剤の開発とジェネリック医薬品の臨床評価 □ 医薬品の個別適正使用を目指した薬物動態・薬物作用解析研究 □ 遺伝子多型や薬物相互作用が薬物動態や臨床効果・副作用に及ぼす影響に関する研究

*1 2021年3月に定年退職予定

*2 2022年3月に定年退職予定

《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL：(054)264-5007 FAX：(054)264-5199

E-MAIL：nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

大学ホームページ：<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

薬学研究院ホームページ：<https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/>